



## たてわりイベントパート2

昨日28日(水)は、たてわり集会がありました。今回は、全校かくれんぼに続き、2回目の全校でのたてわり集会となります。以前、「わくわく通信166号」で紹介した、代表委員会で決まったことを実践しました。

まず、たてわり班ごとに体育館に集まって、競技種目の説明を聞きます。競技種目は、「かりものきょうそう」「フラフープおくり」「『の』の字リレー」です。事前に企画委員会の子供たちが遊び方の説明を映像で準備し、それを各学級で視聴していたので、スムーズに競技に移ることができました。「かりものきょうそう」は、引いたカードに書かれた「物」を運動場に点在する帯西レンジャーに、その「物」を持っていかどうかを尋ねて、持っていたら借りて、持っていなかったら別の帯西レンジャーに借りに行くというゲームです。「フラフープおくり」は、みんなで手をつないで円陣を組み、手をつないだままフラフープを一人一人が潜り抜けていき、一周する速さを競い合います。「『の』の字リレー」は、低学年と高学年がペアになり、新聞紙に書かれている「の」の字にマジックで丸を付け、制限時間内に最も「の」の字を見つけた班の勝ちとなります。

どの競技も子供たちがとても意欲的に活動し、声を掛け合ったり応援したりしながら、たてわり班の絆を深めていました。このたてわりイベントパート2は、全て企画委員会の子供たちの運営によって行われ、教師が子供たちの前に一度も立つことなく、子供たちが全て指示を出し、運営していたところに、帯西のこれまでの取り組みの成果が集約されていたと思います。

今回のイベントの感想です。企画委員会の子供は「初めて企画委員になって、こういうイベントをすると、どんどん人前に出ようとする積極的な気持ちになっています。みんな楽しそうに参加している姿を見ると嬉しくなります。」「みんなが楽しそうにしているので、すごくやりがいを感じます。これからもこういう集会をやってほしいです。」と感想を述べました。また、集会に参加した、子供たちは「『🟢帯西グリーン』の心が伸びました。みんなで競技して、もっと仲良くなったからです。」「『🟡帯西イエロー』の心が伸びました。他の学年と協力して、よりよいたてわり班になるために、力を合わせたからです。」「みんな優しくしてくれて『🟢帯西グリーン』の心を感じました。とても楽しかったです。」と述べました。

今回のたてわりイベントも、下級生は個々のよさを、6年生はリーダー性を発揮しながら、競技上の課題に対して、みんなで力を合わせて、自主的に活動に取り組んでいく姿がありました。子供の子供による子供たちのための活動ができ、企画委員や最上級生は、全校児童のお手本となり、憧れられる存在となりました。次年度は、この経験を共有した5年生がリーダーとして活躍してくれることでしょう。



かりものきょうそう



フラフープおくり



『の』の字リレー